

日本の国立公園制度

日本の国立公園制度は、日本の自然景観を保護・維持するために 1931 年に発足しました。この制度には北海道から沖縄まで 34 の国立公園が含まれており、その面積は日本の国土総面積の 5.8%を占めています。制度発足時、指定を受けた国立公園の一部の地域にはすでに人が住んでいたため、国立公園内の土地は全域が国有地というわけではなく、私有地と県有地も混在しています。地域社会と国立公園はこの制度のもとで共存し、互いに協力しています。